

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

構築物	定額法
工具備品	定率法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,010,000	0	0	3,010,000
小 計	3,010,000	0	0	3,010,000
特定資産				
定期預金 (特別修繕費積立)	300,075	75	0	300,150
小 計	300,075	75	0	300,150
合 計	3,310,075	75	0	3,310,150

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に該当する額)
基本財産				
定期預金	3,010,000	(2,600,000)	(410,000)	0
小 計	3,010,000	(2,600,000)	(410,000)	0
特定資産				
定期預金 (特別修繕費積立)	300,150	(300,150)	0	0
小 計	300,150	(300,150)	0	0
合 計	3,310,150	(2,900,150)	(410,000)	0

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
構築物			
国旗掲揚柱	220,500	154,350	66,150
墓地案内板	267,750	28,925	238,825
合 計	488,250	183,275	304,975

貸借対照表及び損益計算書の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産				
定期預金	3,010,000	0	0	3,010,000
基本財産計	3,010,000	0	0	3,010,000
特定資産				
定期預金（特別修繕費積立）	300,075	75	0	300,150
特定資産計	300,075	75	0	300,150

※ 特別修繕費積立は、将来の会議室・墓地資料展示室の改修工事に充当する。

2. 引当金の明細

2について該当がないため、貸借対照表及び損益計算書の附属明細書は作成していない。